

福井県原子力総合防災訓練の概要

- 2021年10月29日(金)、30日(土)、運転中のプラントで重大事故が発生したとの想定のもと、本店と原子力事業本部、発電所に設置する対策本部の運営訓練、重大事故等対処設備を活用した事故収束訓練等を実施。
- 他電力等との事業者間協定に基づき、連携訓練を実施。自治体は住民避難等の訓練を実施。

訓練参加者 **約6,800人**
(国や自治体、発電所のUPZ※圏内の福井県、滋賀県、岐阜県にお住まいの方等)

参加機関 **約120機関**
(国、自治体、原子力事業者、警察、消防、自衛隊等)

対策本部運営訓練

原子力事業本部、発電所に対策本部を設置。必要な情報を収集・整理して、迅速に外部に発信できることを確認。

原子力事業本部対策本部



事故収束訓練

大容量ポンプの水源までの移動、ホース敷設等の操作を実施。格納容器内を冷却する事故収束活動が適切に行えることを確認。

大容量ポンプ移動、ホース敷設等訓練



自治体との連携

避難退域時検査訓練に参加し、住民の皆様の避難に係る協力的確に行えることを確認。

住民避難時のスクリーニング・除染訓練



他電力との連携

電源確保をさらに多重化するため、協力協定に基づき、他電力が保有する電源車から当社設備への接続を確認。

北陸電力の高圧電源車との接続訓練



※ (Urgent Protective action Planning Zone) 確率的影響のリスクを最小限に抑えるため、緊急時防護措置を準備する区域。(～概ね30km)